

## 平成28年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第2回）議事要旨

1 日 時 平成28年7月15日（金）13：30～17：00

2 場 所 新見市役所 第5委員会室

### 3 出席者

(1) 評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員

(2) 事務局 上山次長、宮地係長、西江主査

### 4 議 事

#### (1) 平成27年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

第1回評価委員会での新見公立大学からの説明に基づき、各委員が評価した内容を発表し、委員会としての意見をまとめた。

今回の審議結果に基づき、次回評価委員会（7月20日（水）午後2時30分から）で、事務局がとりまとめた実績報告書の内容を確認し、引き続き財務諸表及び全体評価について審議することとなった。

詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>○項目別評価の評定4が2項目、評定3が4項目となった。</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数字のうえでは申し分なく、質の高い教育が出来ていると思われる。</li> <li>・一般教養の英語に関しても、様々な努力をされ、科を問わず教育に取り組みされている。</li> </ul> <p>【看護学部看護学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の国家試験合格率100%、59人全員が志望進路に決定するなど、良い実績を伴っている。</li> <li>・「認知症カフェ」といった新しい取り組みの実施、生活支援看護学実習など地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>【大学院看護学研究科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金曜の夕方から土曜に行くなど、社会人の大学院生に配慮した教育計画としてお</li> </ul>	<p>(項目別評価評定) 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル人材育成のため、外国語教育の積極的な取り組みが図られていることや、きめ細やかな学習支援体制への着実な努力が評価できる。</li> </ul> <p>(看護学部看護学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトデイの開催など地域との交流活動を定着させていることや、看護師の国家試験合格率100%を達成するなど質の高い教育成果を挙げていることが評価できる。</li> </ul> <p>(大学院看護学研究科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人の院生にも配慮した教育計画を実施し、修士の学位取得率100</li> </ul>

<p>り、評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2期生の大学院生全員（5人）が修士課程を修了しており、教職員共によく頑張っている。</li> </ul> <p>【助産学専攻科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習期間を延長してでも分娩介助10例を全員が達成させるなど、成果が見られている。</li> </ul> <p>【幼児教育学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生の保育実習時期を事前準備充実のために遅らせたり、2年生の市外の教育実習先を確保するために関係機関との調整を早めに取り組むなど、細やかな支援を行っている。</li> <li>・ こどもフェスタも年々進歩しており、評価できる。</li> </ul> <p>【地域福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船川八幡宮の土下座まつりに全員が参加していることは、地域の財産になりつつある。疲弊しつつあったまつりが元気を取り戻し、市外からの来場者も増えた。</li> </ul> <p>2) 教育の実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年制大学への移行のためには、施設のスペースが無いため、新たに建築する必要があると思われる。</li> </ul> <p>2 研究</p> <p>1) 研究の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究成果の具体化は、内容の独自性もあり困難であると思われるが、社会のニーズに応じた研究をしていく必要がある。</li> </ul> <p>2) 研究の実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部資金である補助金等の申請件数は、平成26年度に比べて件数減ってはいる（△2件）が、申請を継続して行っていることは評価できる。</li> </ul>	<p>%を達成した。また、大学院教授会を6回開催し、教育内容の資質向上を図ったことが評価できる。</p> <p>(助産学専攻科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分娩介助10例を確保するために実習施設との連携・調整を図り、助産師国家試験合格率100%を達成するなど、開設初年度として順調にスタート出来たことが評価できる。</li> </ul> <p>(幼児教育学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新見こどもフェスタや新見子育てカレッジなど、内容の充実を図りながら取り組み、教育研究成果を継続的に地域に還元していることが評価できる。</li> </ul> <p>(地域福祉学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統文化行事である「土下座まつり」の参加など、積極的に地域の交流活動に取り組んでいることが評価できる。</li> </ul> <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の保健・医療の充実を図るため、教育支援体制の充実を期待する。</li> </ul> <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に意見なしとする。</li> </ul> <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に意見なしとする。</li> </ul>
---	--

<p>・個人研究費の傾斜配分については、適切に活用されていると思われる。</p> <p>3 学生の確保及び支援</p> <p>1) 学生の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉学科の定員割れは残念ではあるが、介護職員の待遇改善については、全国的な課題である。</li> <li>・障害学生支援チームをつくり、障害のある学生を受け入れようと方針を策定したことが評価できる。</li> <li>・幼児教育学科と地域福祉学科の併願を可能とするよう改革し、学生確保のための努力を行っていることが評価できる。</li> <li>・在学生による出身校訪問、教員による高校訪問などの取り組みを継続して行い、学生確保のための努力が評価できる。</li> </ul> <p>2) 学生への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能別消防団員の結成は、全国的に消防団員が減少している中で、ひとつの起爆剤となることを期待する。</li> <li>・「保健管理センター」へ医療スタッフを配置し、学生へのメンタルヘルス体制を整えたことは評価できる。</li> <li>・ふるさと納税を活用した給付型奨学金の設置は、良い取り組みである。</li> </ul> <p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 地域社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能別消防団への加入や高齢者からこどもまで様々な形での地域貢献を果たしている。</li> <li>・地方創生にいみカレッジ『鳴滝塾』について、現学長が中心となり、地域を取り込んで地方創生への取り組みを行い、新たな地域住民との交流の場が発生している。</li> </ul>	<p>(項目別評価評定) 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいを持った受験生の受け入れ方針策定、公募推薦入試時の併願制を導入した入試改革、教員の高校訪問及び在学生の出身校訪問など学生確保に向けた積極的な取り組みが評価できる。</li> </ul> <p>(項目別評価評定) 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に意見なしとする。</li> </ul> <p>(項目別評価評定) 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評定3を評定4に変更する。</li> <li>・消防団機能別団員への加入、地方創生にいみカレッジの開催、現職医療従事者等の資質向上のための支援を行うなど地域への貢献度が高い。</li> </ul>
---	---

<p>・医療従事者のスキルアップ支援のための取り組みを行ったことも評価できる。</p>	
<p>Ⅲ．業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	
<p>○項目別評価は評定3のみ2項目となった。</p>	
<p>1 組織運営の改善及び効率化</p>	<p>(項目別評価評定) 3 ・人事評価制度を有効活用し、業務運営の改善・効率化を図られたい。</p>
<p>2 人事の適正化</p>	<p>(項目別評価評定) 3 ・特に意見無しとする。</p>
<p>Ⅳ．財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	
<p>○項目別評価は評定3のみ3項目となった。</p>	
<p>1 自己収入の確保</p>	<p>(項目別評価評定) 3 ・特に意見無しとする。</p>
<p>2 外部資金の獲得</p>	<p>(項目別評価評定) 3 ・特に意見無しとする。</p>
<p>3 経費の抑制</p>	<p>(項目別評価評定) 3 ・特に意見無しとする。</p>
<p>Ⅴ．自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	
<p>○項目別評価は評定3が1項目、評定2が1項目となった。</p>	
<p>1 自己点検及び自己評価</p>	<p>(項目別評価評定) 2 ・特に意見なしとする。</p>
<p>2 情報公開及び情報発信 ・学報「まんさく」は、横書きへの改善、カラーの適切な配置などにより、内容は充実しており、読みやすい。</p>	<p>(項目別評価評定) 3 ・学報「まんさく」のさらなる充実を期待する。</p>

<p>VI. その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>○項目別評価は評定3のみ2項目となった。</p> <p>1 施設・設備の整備及び活用</p> <p>・市民が大学を訪れる機会が増えており、施設がよく活用されていることが見受けられる。</p> <p>2 危機管理及び安全管理</p> <p>VII. 予算、収支計画及び資金計画</p> <p>VIII. 短期借入金の限度額</p> <p>IX. 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 ～該当なし～</p> <p>X. 前号に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 ～該当なし～</p> <p>XI. 剰余金の使途</p> <p>XII. 新見市地方独立行政法人法施行規則で定める事項 ～該当なし～</p>	<p>(項目別評価評定) 3</p> <p>・4年制大学への改革を踏まえた施設整備計画を早急に作成されたい。</p> <p>(項目別評価評定) 3</p> <p>・特に意見なしとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3</p> <p>・特に意見なしとする。</p> <p>(項目別評価評定) 3</p> <p>・特に意見なしとする。</p> <p>※該当なし</p> <p>※該当なし</p> <p>(項目別評価評定) 3</p> <p>・特に意見なしとする。</p> <p>※該当なし</p>
---	---

(2) 次回開催日について

- ・平成28年7月20日(水) 14時30分からとした。

以上